

2024 年度（総合型選抜）AO選抜入学試験
文学部 日本文学研究学域 「人文学プロポーズ方式」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
日本文学研究学域	26	8	8

2. 第1次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

(1) 評価ポイント

研究テーマ・計画の着眼点が独創的であり、日本の言語・文学・文化について、立命館大学文学部日本文学研究学域で専門的に学びたいという意欲が溢れているか、学習・活動計画を含め具体的な記述がなされているかを評価のポイントとしました。

(2) 解答状況

一次合格者の解答は、上記の評価ポイントで示した内容を有しており、具体的な記述によって研究意欲が鮮明に表現されていました。

3. 第2次選考

(1) 評価ポイント

第2次選考では、プレゼンテーションと面接を行いました。以下の3点を重視しました。

- 1) 研究に対する意欲を自身の言葉で表現できているか。
- 2) 具体的で実現性のある研究計画か。
- 3) 理論的に筋道の通った説明ができているか。

(2) 解答状況

上記の評価ポイントで示した内容をおおむね満たしていました。学問に対する並々ならぬ熱意が伝わってくるようで、頼もしく感じました。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

大学での研究テーマと研究計画について、受験生による PowerPoint を用いたプレゼンテーション（10 分間）のあと、質疑応答を行いました。続けて、大学進学後の学びや将来の目標等についての試問を行いました。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

自分の考えを他者に的確に伝える能力を見定め、大学における専門的な学習に必要な知識および意欲を確認する目的で、プレゼンテーションと面接を実施しました。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

高校での学習をおろそかにせず、基礎学力の習得と定着を何よりも心がけてほしいと思います。関心を抱いている事柄はもちろん、幅広い領域に興味を持ち、多様な事象について思考し、それを正確に書き表す力を養ってください。

以上